



営農ウィークリーNEWS

春キャベツ集荷開始

洛南支店管内の特産品である『春キャベツ』の集荷が、今月10日（金）よりスタートしました。今年は、春先の長雨のため生育の遅れが心配されていましたが徐々に回復しています。異常気象に対応できるよう肥培管理を適正に行い、高品質な出来栄を維持するよう取り組んでいます。



昨年は、3月以降平年以上の温度と適度な雨量により、春系品種は5月中旬で切り上がった一方で、初夏系品種は大玉傾向で出荷増となりました。市場からの引き合いはLサイズが強くなっています。

全国的な概況については、暖冬の影響により3月中旬までは全国的な飽和状態となっていました。4月に入り出荷量が大きく落ち込み相場高となっております。茨城県産を中心とした関東産が出回るまで続く見込みです。



—TAC information—

農福連携事業会議



営農販売課では、農業と福祉が手と手を取り合い、誰もが個々の特性を活かして活躍できる持続可能な社会の実現を目指す「農福連携」に取り組んでいます。5月8日には、京都府・京都市・関係機関とともに、農業の実状を共有し、労働力不足改善に向けて、協議を行いました。新たな取り組みとして、官民連携の京おくら生産者と福祉事業所を繋ぐマッチング会の開催を検討しています。



病害虫発生予察情報について

下記のとおり、発表しましたので送付します。

病害虫発生予察注意報第1号

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| 1 作物名 | 果樹全般 |
| 2 病害虫名 | 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ） |
| 3 発生地域 | 府内全域 |
| 4 発生時期 | 5月上旬～ |
| 5 発生量 | 多 |



チャバネアオカメムシ クサギカメムシ ツヤアオカメムシ

6 注意報発令の根拠

- (1) チャバネアオカメムシの越冬量は、山城及び丹後地域で平年並、丹波地域で平年比多い(表1)。
- (2) 4月第6半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(表2)。
- (3) 4月第6半旬現在、チャバネアオカメムシの予察灯(ブラックライト、以下BL)への誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(表3)。
- (4) 4月第6半旬現在、クサギカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は京田辺市で誘殺を認めず(平年並)、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(表4)。
- (5) 4月第6半旬現在、ツヤアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は京田辺市で平年比多く、亀岡市及び京丹後市で誘殺を認めていない(平年並)(表5)。
- (6) 4月25日発表の近畿地方の気象1か月予報では、気温は高く降水量はほぼ平年並とされ、今後果樹園への飛来が増加するおそれがある。

7 防除上の注意事項

- (1) カメムシ類は局地的に発生し被害をもたらすこともあるため、園内外の成虫発生状況をこまめに観察し、発生を認めたら早めに防除すること。特に、山林等の隣接園では注意する。
- (2) カメムシ類は、夜温が高く風の弱い日の日没頃に多く飛来する。
- (3) 合成ピレスロイド剤の連用は、ハダニ類やカイガラムシ類が多発する恐れがあるので避けること。
- (4) ナシやモモの有袋栽培では、早めに袋掛けを行う。

**今年は、暖冬の影響で越冬する個体が非常に多くなっています。
発見次第、適切な防除を行いましょう！！**